

12月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km 管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 5 年 12 月 1 日	実施区間	18.0km ~21.0km (左岸)

一気に冬の様相、河川敷の野草 時折冷たい風に震える

夏を思わせるような11月3日のモニターと打って変わって、12月1日はさすがに冬の到来をつけるような天候でした。

河川敷きの野草群は全体が茶系統に変わり、遠くには灰色の雲が低く垂れこめていました。河川敷では冷たい風が時折強くなり、寒さを感じるようになりました。



①冬の様相を見せ始めた河川敷の野草群

一人で何の漁？獲物はカニ？

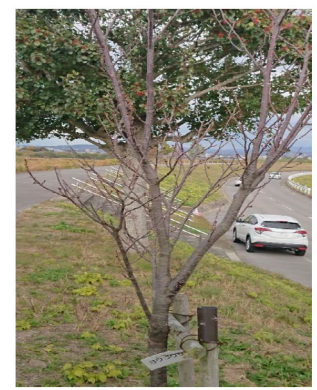
そんな中、目を凝らすと渡橋のやや下流の浅瀬で、一人の男性が「漁」をしていました。釣り竿ではない方法で「獲物」を探していました。何を獲ろうとしているかは分かりません。ネットで調べてみると、この時期に矢作川でカニを獲った人の記録が載っていました。モニターリングで初めて見た「漁」でした。



②浅瀬で一人「漁」に励む男性

クロガネモチの赤い実が枝に ヨウコウサクラはすべて落葉

堤防に植樹された木々にも、大きな変化が見られます。クロガネモチと思われる木には赤い、小さな実がいっぱいついています。一方、ヨウコウサクラの木は葉っぱをすべて落とし、丸裸です。異常気象の1年でしたが、秋から冬への移り変わりを見るのは楽しいです。



③赤い実が目立つクロガネモチと
落葉したヨウコウサクラ

遠慮がち?!に置かれたゴミ

毎回のことながら、不届きな人もいます。袋詰めにしたゴミが堤防階段に置かれていました。気が引けるのか、袋にいれてありました。残念なことです。



④階段下に置かれたゴミの袋